第74回全日本障害馬術大会2022Part I

新型コロナウイルス感染症対策 および厩舎セキュリティーについて

ご協力のお願い

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、大会期間中、参加者、関係者の皆様には以下の通りご協力をお願いいたします。

- ・騎乗時以外におけるマスクの場面に応じた適切な着脱
- ・こまめな手洗い/消毒
- ・毎日の検温
- ・会場の内外で'三密'を避ける行動
- ・ソーシャルディスタンス(2m程度)の確保

安全・安心な競技会を行えるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

入厩の流れ

- ① 馬運車が競技場に到着したら、代表者から本部に電話をしてください。 (本部携帯:090-7281-5722)入厩時間外に到着した場合は、入厩時間になりましたら本部に電話してください。(入厩時間:16日8:30~16:00、17日7:30~12:00)
- ② 順番に獣医師団が馬房に行き馬体チェックを行いますので、それまでは 馬房から馬を出さないでください。
- ③ 馬の健康手帳は、獣医師団に馬房で直接お渡しください。
- ④ 馬体チェック後、馬の健康手帳は獣医師団が一度お預かりします。
- ⑤ 後ほど、馬の健康手帳のチェックを行い、団体にお返しします。

<馬番号札について>

- ・馬番号札は競技会場で配布いたします。
- ・馬番号札は<u>使い捨て</u>です。
- ・馬番号札は予備を含め1頭につき3枚配布しています。 運動時には必ず頭絡やゼッケンに装着してください。



選手・関係者用リストバンドについて

- ・大会期間中に<mark>厩舎地区</mark>に入るためには、選手・関係者用リストバンドが必要です。リストバンド の各団体配布上限枚数は以下の通りです。
- ○選手1名につき1枚(FSのみ出場する選手は除く)
- ○馬1頭につき5枚(保護者、トレーナー、グルーム等)
- 例) 選手2名と馬3頭で参加する場合は合計17枚まで
- 2枚(選手2名) + 15枚(3頭×5枚) = 17枚
- ・11月7日(月)までに、特設サイトの「リストバンド登録フォーム」より入場者の事前登録を 行ってください。
- ・事前に登録された人数分のリストバンドを、入厩日に会場にて所属団体にお渡しします (リストバンドの事前送付は行いません)
- ・事前登録を行っていない人がリストバンドを使用することはできません。
- ・なお、紛失した場合の再配布はできませんのでご注意ください(破損した場合は、破損した リストバンドと引き換えに再配布をいたします)

選手・関係者(観客除く)の事前登録について

<登録の流れ>

- ① URLからアクセスまたはQRコードを読み込む
- ② 「選手・関係者用 リストバンド登録フォーム」をクリック
- ③ **11月7日(月)**までに回答して内容を送信する

<注意>

- ・未成年の選手が大会に出場し、当日その選手の保護者が会場に臨場しない場合は、「保護者委任状フォーム」もご提出ください。
- ・獣医師および装蹄師は別途申請が必要です。「獣医師・装蹄師登録フォーム」にて11月7日(月)までにご登録ください。リストバンドは当日、会場にてお渡しします。



URL: https://onl.tw/DsBh6GX

LINEオープンチャットの登録について

QRコードを読み込み、大会のLINE オープンチャットにご登録ください。

オープンチャットでは、

- ・成績表
- ・コース図
- ・大切なお知らせ事項

などが特設サイトで発表された際に、 随時お知らせいたします。



ご自身の体調管理について

- 競技会の2週間前から**毎日検温**し、ご自身の体調管理を 行ってください。
- 競技会期間中は、朝宿泊施設を出発する前に、 検温してください。
- 37.5°C以上の熱がある場合は競技会場に入場できません。加えて、息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、味覚異常がある場合は、厚生労働省の電話相談窓口に連絡して対応をご相談ください。

厚生労働省の電話相談窓口

電話番号: 0120-565653

(フリーダイヤル)

受付時間:9:00~21:00

(土日・祝日も実施)

マスクの着用について

マスクについては、場面に応じた 適切な着脱をお願いします。

季節を問わず、

マスク着用は原則不要



人との距離(めやす2m)が保てず、 会話をする場合は着用をお願いします。





徒歩や自転車での通勤・通学など、人とすれ違う時も不要

距離を保って、会話をする際はマスクは不要

距離が確保でき 会話を ほとんど行わない場合をのぞき





マスク着用推奨



<u>十分な換気など感染防止対策</u> を講じている場合は外すことも可

マスク着用推奨



距離が確保できず、 会話をする時は着用



人との距離(めやす2m)が保てて、会話を ほとんど行わない場合は着用の必要ありません。

基本的な感染対策はメリハリをつけましょう。 高齢の方に会う時、病院に行く時、通勤ラッシュ時や 人混みの中ではマスクを着用しましょう。



